

福井のくらしをよくする地域のネットワークを大切に

～第17回通常総会報告～

日 時：2014年7月5日（土）10：30～11：40
場 所：福井県国際交流会館 第1会議室
出席会員数：235名（内書面議決による出席 209名）

第1号議案 2013年度活動報告と決算報告承認の件
第2号議案 2014年度活動方針及び予算決定の件
第3号議案 役員補充選任の件
総会では全議案を原案通り承認いただきました。



■ 2014年度基本方針 ■

第5次中期3カ年計画の2年目として、ふくい・くらしの研究所が「消費者自立支援」「家族のくらし支援、地域のくらし貢献」「情報ネットワーク」の3つの役割を引き続き確実に果たして消費者教育推進の一翼を担っていくために、くらしにかかわる情報の収集・発信力を強めて研究所の情報ネットワークへの参加者を広げます。また、行政や地域の諸団体・グループとの連携をさらに深めながら、公共性を高める活動基盤をつくります。

- (1) 『消費者の自立支援』を推進します。福井県消費生活センター委託事業を継続して受託し、県民の消費生活講座、くらしの講座への参加を広げていきます。特に、子育て層や次世代リーダーなど、消費者被害・食・環境・ライフプラン・福祉・防災などくらしのさまざまな分野について、県民を対象にした「くらしの講座」と、地域の消費者リーダーを育成する講座をすすめていきます。
- (2) 『家族のくらし支援、地域のくらし貢献』として、「くらなび農園」「男の料理」「ハートクッキング」を年間計画に基づいて開催します。家族のコミュニケーションや新しい出会いの場作り、食の自立に貢献するとともに、他団体との連携や委託による事業を組み込むなどして参加の幅を広げます。「出前講座」は『出前講座手順書(仮称)』を作成して、実践していく中でレベルアップを図ります。
- (3) 『情報ネットワーク』では、「ホームページ」と「消費者のくらし向き調査」を行い、情報の発信力強化と価値向上を行います。くらし向き調査では、消費増税に関するテーマでの調査を継続して行います。また、くらしの研究所からの情報を必要とする人や団体との接点を増やししながら情報提供力を高めて、くらしの研究所がありがたい姿として掲げている「くらしのナビゲーションセンター」をめざします。

※北川雅基様が理事を辞任されました。大変お世話になりました。ありがとうございました。
藤井明博様が、新しく理事に就任されました。

■ 理事長よりご挨拶 ■

理事長 竹生 正人

今年度は、特に以下の3つの課題を重点的に取り組んでまいります。

①消費者力を高めていくために、もっと積極的に教育サポート・情報発信に力を入れる。

2013年1年間の消費者被害・トラブルに関する商品・サービス等への支出総額は消費者庁推計値で約6兆円にもものぼることや一流レストランでの表示偽装問題など、昨年度も消費者のくらしを脅かす様々な問題が発生しました。

研究所としては、引き続き消費者に身近なくらしの諸課題に対応していきます。

②福井のくらしをよくする地域のネットワークを大事にして、地域力を高める一翼を担う。

幸福度日本一の調査で福井は日本一になったが、家族みんなで働いてみんなで支えあってきたという福井の特性があります。地域力を高めるのは個別の団体の力では対応できません。地域の様々な団体とのネットワークを深めて、研究所の果たすべき役割を発揮していきます。

③会員の拡大に力を入れる。

認知度を高めて、事業に参加いただく方に会員になっていただくよう努めます。また、事業所団体にも働きかけます。



公益社団法人ふくい・くらしの研究所に期待すること

福井県 県民安全課 課長 白崎 雅義 氏

皆様には、日ごろから県の消費者行政に対し格別のご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ふくい・くらしの研究所におかれましては、平成9年の設立以来、暮らしに関する各講座や調査・研究、食育、環境等、幅広い活動に取り組み、「くらなび農園」、「男の料理教室」など、家族のくらしの支援や地域のくらし貢献の取組み、また消費動向調査や情報誌・ホームページを通じた、くらしに役立つ情報収集・発信機能の強化に努められていることに、深く敬意を表します。

また、県から貴研究所に、平成17年度から消費生活講座を委託しておりますが、鯖江市や大野市の事業も受託されるなど、日頃から、消費者の自立支援に、ご尽力賜っておりますことに、あらためて感謝を申し上げます。

消費を巡りましては、さまざまな問題が発生をしておりますが、県では、県民の皆様が、正しい知識を持った、自立した消費者となりますよう、小学校に協力をいただき、食品テスト体験教室など早い時期からの消費者教育や悪質商法の対象となりやすい高齢者向けの啓発活動など、世代に応じた消費者教育の強化を図っております。

これからも、「消費者が安心して暮らせる安全な地域社会への貢献」という基本理念を持つ貴研究所とともに、「消費者が安心して暮らせる、安全な地域社会」の実現に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



総会記念映画会 「体脂肪計タニタの社員食堂」 報告

日時：2014年7月5日(土) 13:00~15:00

場所：国際交流会館 多目的ホール

参加：92名

役職員学習会の一環として、「食と健康」をテーマに、ファミリーなどで楽しみながら学べる学習会として開催しました。

この映画は、健康機器メーカー タニタが、社員の健康維持を目的にした社員食堂のメニューにまつわる実話をベースに、「もし、タニタの社員が全員太っていたら…」という着想を元に構成されたフィクション映画です。

昨年開催した科学ライター松永和紀先生の「食の安全・安心」に関する講演会の中で、「食品添加物よりも、「過食・偏食」や「生活習慣病」が健康にもたらす影響ははるかに大きい」という指摘がありました。健康長寿な福井づくりに貢献していくために、今回家族などで楽しみながら健康について話し合ってくださいと、この映画会を企画しましたが、充分きっかけになったようです。



◆参加者アンケートより◆

- ・食べないのではダイエットにはならないと分かっていましたが、映画を見てカロリーが大事だと改めて思いました。
- ・食べないダイエットは逆に脂肪をためるということを初めて知りました。
- ・改めて油の使用回数が多いのに気付かされました。今晚から頑張ります。
- ・夫婦二人の生活で食事手抜きになりがちだったので、前向きに食生活を考える機会になりました。
- ・食事の量を減らすだけではなく、栄養面やカロリーを考えていこうと思いました。
- ・レシピやダイエット等、毎日のこととなると大変ですが少しでも参考にして取り入れていきたいと思いました。
- ・太るきっかけとかダイエット中の心理とか少し理解できた。
- ・日々の努力と継続が大切である。挫折してもスタートを新たに再挑戦！
- ・甘いものが大好きで、ダイエットに失敗しています。少し目線を変えて頑張ってみます。